

M. U. 英語英文学科・3 年次

I. 留学レポート

① 協定留学を目指した理由

私が留学に興味を持ったのは高校 3 年生の時、当時通っていた塾の担当の先生がきっかけです。その先生は英語が堪能で、色々な国の文化などをたくさん知っていて、留学の経験談を聞いているうちに私も色々な世界を経験し、英語を上達させ色々な国の人々とコミュニケーションが取れるようになりたいと思いました。なので、入学前から協定留学の制度を意識し、1 年次の時から 3 年次で行くことを目標に説明会に参加したりしました。

② 留学を目指してから出願までの英語学習方法

入学前は主に TOEIC 対策しかしていませんでした。入学後も日々の授業の課題くらいしかやっておらず、英語力は低下していたと思います。協定留学出願時期が近づいて来た 2 回生の春頃から IELTS 対策を始めました。知人に解き方のコツを教えてもらい、IELTS は制限時間内にどれだけ正確に答えられるかがポイントなので、後はひたすら時間を計りながら公式問題集を解いて練習をしました。

③ 留学決定から出発までの準備期間

留学決定後はアルバイトと留学関係の手続きに追われていました。全てにおいて初めてなのでこれで大丈夫なのか、うまく手続きできたかなど不安でした。中でもビザの申請と入国手続きに必要な書類集めは大変でした。ビザの手続きは業者に頼むことをお勧めします。業者の方と何度も連絡を取り合い、質問したり確認してもらったりしました。これと違って特別な勉強はしていませんでしたが、洋画を観たり、BBC News を題材にした iPhone のアプリでイギリス英語を聞いたりしていました。

④ 現地到着後

関西空港発、アムステルダム経由でリーズ空港に行きました。リーズ空港からはアムステルダムの空港で仲良くなったリーズ大学に向かうという中国人の女の子と、リーズ大学に通う妹に会いに来たイタリア人の女性と 3 人でタクシーを乗り合わせて寮まで向かいました。一人で乗ると £20 くらいしますが、一人 £8 で行けました。空港からリーズ大学周辺までは 20~30 分程度です。到着日が土曜日だったこととアムステルダムでの飛行機の出発が大幅に遅れたことで、寮に着いたときには寮のレセプションが閉まっていて、鍵をピックアップできず大ピンチでしたが、タクシーのおじさんが大学に連絡してくれて、鍵をピックアップしてまた寮まで送ってくれて助かりました。今となっては良い思い出ですが、万が一のケースを考えて備えていくことをお勧めします。4 月からの語学学校のコースは Term1 から Term3 のうちの Term3 にあたるので、途中参加のような状態で新入生向けのオリエンテーションや学校案内などは無く、自分の寮から語学学校までを自分で調べて自

力で行かなければなりません。語学学校まで行ってしまえば、先生の指示に従って入学手続きを行い、語学学校のオリエンテーション、クラス分けテストを受けました。

⑤ 語学研修期間

◆ 語学研修先の施設・環境について

語学研修期間とは言っても、大学に付属の語学コースなので、登録を済ませたら現地の学生と同じ学生証をもらえ、図書館やジム、コンピュータールームや食堂を利用できました。語学研修の前半はTerm1からいるアラブ系の生徒とTerm3から参加した日本人だけで構成されていました。後半はSummer Term といって中国人や韓国人、フランス人など国際色豊かになりました。1コマ2時間の授業が1日2~3コマ、それが週5日ありました。

◆ 授業内容、課題、試験

授業は様々なテーマについてのリスニングやリーディングを通して理解を深め、それらについてエッセイやプレゼンテーション、グループディスカッションで発表するといった形式で、エッセイの書き方や正しい引用の仕方、プレゼンやディスカッションの練習など9月からの正規履修で必要とされる知識を学びました。プレゼン大会では、イギリス人の食文化について町や学校にアンケートを取りに行きました。この大会で、全グループの中で優勝できたことは、とても自信になりました。ただ学ぶだけでなく、グループで動画を作ったりゲーム形式で競ったりと楽しんで学ぶことができ、クラスメイト同士とても仲良くなれました。課題はリーディングやライティングなど毎日ありましたが慣れれば苦ではなくなりました。語学学校の先生はとてもフレンドリーで月に1回ほど個人面談で相談に乗ってくれたり、先生お勧めのお店にご飯を食べに行ったり Day Trip に行ったりしました。

⑥ 正規科目履修期間

◆ 大学の施設・環境について

9月になると現地の学生たちが実家から戻って来たり、1年生たちが入って来たりするので学校も町もとても賑やかになりました。留学生向けのイベントや1年生向けのイベントが本当にたくさんあって毎日何らかのパーティーに参加している状況でした。授業によって教室は違いましたが、使用できる施設や制度は語学コースの頃と変わりませんでした。

◆ 履修科目

履修科目は事前に日本である程度調べて決めていきましたが、9月に実際に2回ほど受講してみて想像と少し違ったので同じ単位数のものに変更しました。履修科目変更期間内であれば自分で教授に掛け合っただけで途中で辞めること、途中参加も可能でした。

・ Tourism and Culture

社会学部2年生の授業で、様々な種類の観光の形が紹介され、それらがどのように地域や経済、文化などに影響を与えているかということを知りました。

・ Managing Festivals and Events

1 年生の授業で、主にどのようにイベントやお祭りをマネジメントするかについて学びました。イギリスやヨーロッパ特有のお祭りについて知り、イベントを主催者側の立場で考えることができ楽しかったです。

・ Second Language Acquisition and Learning

第 2 言語習得のプロセスや、年齢や勉強法、環境などがどのように第 2 言語の習得に影響するかについて学びました。教育学部で留学生が履修できる授業が少ないため、受講生は留学生が大半を占めていました。

◆ 授業、レポート、定期試験

ほとんどの授業が 1 時間のレクチャーと 1 時間のセミナーに分かれていました。課題は参考文献のリーディングだけであったり、リーディングしたものをレポートにまとめたもので、毎週ありました。テストは 3000words エッセイが 3 つとプレゼンテーションが 1 つありました。

⑦ クラブ、課外活動、ボランティア活動

Kickboxing Society と Japanese Society に所属していました。Kickboxing Society は 1 時間の練習が週に 3 回あり、トレーニングはとてもしんどかったですがコーチや上級生がとてもフレンドリーで楽しかったです。100 人以上いるメンバーの中でアジア人は私と中国人の友達の 3 人だけでしたが、おかげでイギリス人の友達がたくさんできました。Japanese Society はリーズの日本語学部の生徒を中心に、日本が好きな生徒がたくさんいます。日本語学部のイギリス人でスペイン語も話せる友達と Language Partner になってお互いの言語を教え合ったりしました。その子に関西弁を教えると気に入ってくれて、次の年の留学先を関西にしたと聞いてとても嬉しかったです。Japanese Society なので日本人も多いですが、友達づくりや Language Partner をを見つけるにはとても良いと思います。

⑧ 現地での住まい（語学研修期間、正規科目履修期間）について

語学研修期間、正規履修期間とも大学の寮に住んでいました。4 月～6 月はメインキャンパスから徒歩 20 分くらいの Sentinel Tower にいました。学校と町の中心部から少し離れていたのと、人通りが少なく、夜歩くのが怖かったので引っ越そうと思い、7 月～1 月までは 1 番人気の Central Village に抽選で入ることが出来ました。メインキャンパスやショッピングセンターまで徒歩 5 分圏内、レセプションも 24 時間開いていてとても便利でした。どちらの寮もトイレ、シャワー、洗面所は各部屋に付いていてキッチンだけ 6 人でシェアでした。食事は付いていない寮だったので基本的に自炊しなければなりませんでしたが、フラットメイトと一緒に作ったり、日本食を作ってあげたりして、料理もできるようになってくるのでむしろ楽しかったです。

⑨ 長期休暇の過ごし方

あまり長期休暇はなかったですが、国内旅行や海外旅行に行きました。日本から母が遊び

に来てくれたり、語学学校が終わり、正規履修が始まるまでの期間は日本の大学生も夏休みなので友達が遊びに来てくれたりして、隣町の York や London を案内しました。また、現地でできた友達とフランス、ベルギー、スペイン、スウェーデン、フィンランドに行きました。お金はかかりますが、LCC や Airbnb を利用して日本から行くよりははるかに安く、短い滞在で何か国も一気に回ったりすることができるので色々な国の料理や街並みを経験出来てとても楽しかったです。これもヨーロッパ圏に住んでいる特権だと思いました。

⑩ 留学期間中の就職活動の取り組み

マイナビに登録したり、3 月からの ES に間に合わせるために 1 月末の TOEIC 公開テストに申し込んだりしたくらいで特に何もしていません。何も情報が入ってこないの少し不安ではありましたが、帰ってからも十分間に合うという先輩の言葉を信じて留学に集中することにしていました。

II. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

たくさんあって一つに絞ることが出来ませんが、仲良くなった友達とご飯を食べに行ったり、カフェでお喋りしたり、パーティーに行ったり、恋愛相談に乗ってなぜか一緒に泣きながら笑ったりと、留学前は自分のつたない英語でこんなに仲良くしてくれる友達が出来るとも思ってもみなかったので友達と過ごしている時間がいつも楽しくて全てとても良い思い出です。

② 留学中でつらかったこと、最も苦労したこと

リーズはイングランドの中でもスコットランド寄りのとても北の方にあつて、訛りが結構きついで、到着してしばらくは自分が習ってきた英語とのギャップに耳がついていかず、タクシーのおじさんやスーパーの店員の言っていることが聞き取れないことがよくありました。何度も聞き返すと嫌な顔をされるので、スーパーで買い物するのも気が抜けませんでした。1 か月～2 か月もすれば慣れてちゃんと聞き取れるようになりましたが慣れるまでは何事も大変でした。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

食事をした後の食器を 1 週間くらいためてから洗ったり、料理に味付けをしなかったり、授業中でも平気でお菓子や果物、パンなどを食べます。教授も食べながら授業をしたりしていて驚きました。良い点で言うと、学生はみんな親元を離れて寮かシェアハウスに住んでいるので身の回りのことを自分でするのはもちろん、長期休暇以外はバイトをしません。日本の大学生と比べて自立しているし、みんな良く遊び、良く勉強していると感じました。24 時まで開いている図書館は、いつも空いている席を探すのが大変なほど生徒が勉強していて、金曜日になるとみんなパブやクラブに行つて朝まで遊びます。女の子は真冬でもパ

一ティーやクラブに行く時は、キャミソールにミニスカートでもコートを着なかったり、お酒を飲む量も凄くて驚きました。

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

① 留学先大学の良かった点、悪かった点

大きな大学で、学部、学科が本当にたくさんあるので面白そうな授業や興味のある授業が必ず見つかると思います。また、留学生をたくさん受け入れているので本当に色んな国の人と友達になれたり、留学生向けのオリエンテーションやイベント、サポートもたくさんあって、留学生やアジア人だからといって浮いたり珍しがられたりせず、自分の大学のように快適に過ごせるのが良いと思います。また、みんな学校の寮か学校近くのアパートメントに住んでいたり、スーパーやシティセンター、パブや映画館なども全て徒歩圏内にあったりと、いつでも気軽に図書館やジム、友達の家や遊びにも行けてとても便利でした。悪い点で言うと、留学生が多い分、少し日本人も多いのかなと感じました。

② 日本から持って行って、特に役に立ったもの

パソコンは必需品です（パソコンを持ってきていなかった友達がいたのですが最終的に現地を買っていました）。クレジットカード（寮費の支払いやコインランドリーの使用などもオンラインでクレジットカードでしか支払えません）、電子辞書、コロコロなど（日本のものが安くて断然使いやすいです）。生活用品などある程度のもは現地で購入できます。

③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

リスニング力、スピーキング力は上がったと思います。現地到着直後は訛りもあり、語学学校の先生の話でさえ集中しないと聞き逃してしまったり、言いたいことがうまく伝えられなかったりしましたが、気がついたら現地の学生に混ざって授業を受けたり友達とお喋りできるくらいには成長したと思います。

④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

ややこしい手続きや費用など、不安なところもたくさんあると思いますが、それ以上に得るものがたくさんあると思います。最後の学生時代なので日本で毎年同じような大学生活を4年間送るより、色んなことを学べて経験できて、刺激的で充実した1年間にした方が良いと思います。興味があるけど迷っていたり、踏み切れずにいるなら絶対挑戦した方が良いと思います。

Ⅳ. 将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

リーズ大学では今まで聞いたこともないような国など、本当に多くの国の人々に出逢い、日本ではあまり馴染みのない国の料理や言葉、文化などを知りました。それと同時に色ん

な国の人々に日本について話をすると、興味を持ってもらい、行ってみたいと言ってくれることが多くありました。また、世界各国でテロが起きている中で、自分の国が被害にあったという友達が身近にいることで、テロを自分事のように思うことが出来ました。一方で、馴染みのない国や人々のことはどこか他人事のように思っていることに気が付きました。これらの経験から、これからもっと多くの国の人々に出逢い、文化や言葉を知り、身近に思える国を増やしたいと思います。それと同時にもっと多くの人に日本のことを知ってもらい、日本を身近に感じてもらえるようにしたいと思うようになりました。なので、具体的ではないですが、多くの国の人々と出会える、またはそういう人の応援やサポートが出来る仕事をしたいと思っています。

V. 写真



フラットメイトと手巻き寿司パーティーをした時の写真です。

お寿司や日本食のレストランもありますがとても値段が高いため作ってあげるとすごく喜んでくれます。よくお互いの国の料理を作り合いました。



ハロウィンの時の写真です。仲の良いみんなでスーパーマリオブラザーズに出てくるキャラクターの仮装をしました。